

研究所だより

高齢化・・・

世の中では団塊の世代の定年退職が始まる 2007 年をひとつの大きな転換期として捉えて、各分野への影響を危惧しています。

大量に就業者数が減少する面（実は定年がそのまま退職を意味しませんが）もありますし、一方で新たなアクティヴシニアとしてのマーケットの創造を期待する向きもあります。いずれにしても、高齢化社会では、ほとんどの事象が縮小する方向に動きますが、高齢者数は増加し、高齢者ニーズは多様化することは間違いないので、数少ない拡充マーケットと言えます。

我々は従前から、このマーケットに着目して調査研究や事業化そして高齢者福祉情報ネットワーク事業等に取り組んできましたので、次号はその視点からの特集号としてみたいと思います。

高齢化は他人事ではなく弊社においても着実に高齢化が進んでいます。30 歳半ばというやや高齢化傾向にあります。4 月に新進気鋭の 2 名が加わり、少しは若返りました。しかし、3 年経てば 3 年高齢化します。年齢を経て熟達したベテランが増えることは重要ですが、動きが俊敏で新たな発想と技術を有する若い世代が将来を支えますので、経験が少なくても新たな社会システムを構築しようとする意欲ある若い世代の来訪を期待しています。

編集者から

近年はどういうわけか一年中忙しく、それも年を経るごとに忙しさが増して来るように感じます。自分自身の年齢のせいかもしれませんが、世の中の課題からの要請がより高次になってきているからだと思われます。

例えば、政策面でもすべてがこれまでの政策から脱却した新たな視点での取組が行われつつありますし、個々の事業においても変化するマーケットの見極めがシビアになり、新たな手法等も求められています。我々もできるだけ、それらの動きを先取りし、応えるべく常に勉強する必要がある、その結果年々忙しくなってきたのだと思います。

それでも本年度の業務をまとめつつ新たな仕掛けを行うという 1～3 月はやはり年間の繁忙期のピークであり、その中で、本誌の原稿を作成し、発刊することはかなりの負担です。しかし、本誌は多くの読者が待っており何とか各執筆者のがんばりにより発刊できました。

読者の方々の意見や応援が励みになりますし、できるだけ有用な情報源として活用していただけるようさらに全員で取り組んで行きたいと思います。

また、「こんなテーマを集めて欲しい」、「このような視点も必要ではないか」等のご意見・ご要望がございましたら、お気軽にお声がけいただければと思っております。

● 04号目次

- テーマ1 新たな政策立案の潮流とシンクタンクの役割
- テーマ2 「政策」の「評価」について
- テーマ3 非市場財の経済評価
- テーマ4 都市における定量的な分析・予測・評価手法の可能性
- テーマ5 日本の住宅金融の転換に向けて
- テーマ6 密集住宅市街地整備型リバース・モーゲージ・システム
- テーマ7 若者の地方回帰
- テーマ8 ソフト・サービス分野におけるPPP
- テーマ9 所有権の住宅と利用権の介護施設を組み合わせた新しい居住形態：
- テーマ10 サービスオフィス
- テーマ11 わが国におけるアウトソーシングの現状と今後の課題
- テーマ12 都市再生と東京ベイエリア連合構想への道

● 05号目次

- テーマ1 新たな政策立案の潮流（2）- 英国に学ぶ視点—
- テーマ2 21 世紀のエネルギーインフラ整備に向けて
- テーマ3 水素社会への移行
- テーマ4 欧州の温室効果ガス排出動向と我が国の取組み
- テーマ5 政策評価における定量的な分析・評価手法
- テーマ6 都市整備と都市整備とエリアマネジメント
- テーマ7 小売業の概況と商業施設の不動産証券化
- テーマ8 東京湾ベイエリア産業ビジョン
- テーマ9 全国のリサーチパークの現状と課題
- テーマ10 GIS をとりまく近年の動向と展望
- テーマ11 事業用借地権の現状と展望
- テーマ12 カジノと観光産業

● 06号目次

- テーマ1 新たな政策立案の潮流（3）- 原点を見据える—
- テーマ2 コーポレートガバナンス
- テーマ3 非営利法人のガバナンス
- テーマ4 国家のガバナンス
- テーマ5 ハウジング・アフォーダビリティ指標の算出
- テーマ6 循環型社会形成に向けたエココミュニティー事業
- テーマ7 リバースモーゲージの現状と今後の展開について
- テーマ8 知的資本経営
- テーマ9 米国の水素ハイウェイ 構想と自治体への期待
- テーマ10 路地裏感覚でみた中国経済

● 07号目次

- テーマ1 新たな政策立案の潮流（4）- 都市・国土を「図る」
- テーマ2 都市・国土政策の展開方向-都市・国土のはかり方-
- テーマ3 都市・国土政策分析評価モデル-都市・国土の定量的な分析・予測モデル-
- テーマ4 都市の構造分析：コンパクトシティ
- テーマ5 都市・国土における圏域分析の手法-客観的、定量的な分析手法とその活用可能性-
- テーマ6 検証 広域連携拠点都市
- テーマ7 国土構造(a system of cities)の分析・評価-首都機能移転-
- テーマ8 アメリカ経済の拭えない不安

● 08号目次

- テーマ1 新たな政策立案の潮流（6）- 住宅の政策の行方—
- テーマ2 住宅政策の転換期を迎えて-住宅基本法の構築と住宅価値の形成-
- テーマ3 公的住宅のマネジメントハウジング・アフォーダビリティ指標の活用-
- テーマ4 住宅政策のキーポイント「居住と福祉」
- テーマ5 住宅金融を取り巻く課題-住宅金融制度の再編成に向けて-
- テーマ6 知的財産権による資金調達の新展開
- テーマ7 金融危機の決算